

南小だより 7月

子どもたちが楽しみにしている夏休みが近づいてきました。自由な時間を大事に使って、自分の可能性を見付けたり、広げたり、特技をさらに伸ばしたりできるといいですね。どこかに出かけなくても、料理や生き物の飼育など身近でできる体験は多くあります。読書も広い世界を追体験できるものです。近頃では、様々な機関が、作品募集や講座やキャンプなど子ども向けの取り組みをしています。それらをうまく活用して、豊かな体験をし、思い出いっぱいの夏休みにしてください。

6月23日に実施した「ネット依存・ゲーム障害」の講演会の中で「ラット・パーク」の実験に関する話がありました。自然豊かな環境を与えることにより、依存状態から抜け出せるという内容です。子どもにとって良い環境をつくるのが大人の責務だと痛感しました。今年度も「ノーメディアデー」を実施します。これは、ネット依存・ゲーム障害に関する家庭での予防策の6番目、「デジタルデトックスの機会をもつ」にあたります。ぜひご家族でお取り組みください。

指導体制の変更について

守山亜紀教諭が6月12日から産前休暇に入りましたので、その代替教員として、大島布恵先生が13日に着任しました。

大島先生は本校で長年勤務し、5年前に退職しましたから、卒業生も知っている人たちが多いと思います。1年から6年まで全学級の音楽を指導します。よろしくお願ひします。

ぴかぴかデー ご参加ありがとうございました。

6月23日の日曜参観には多数おいでいただきありがとうございました。どの子どもも保護者の方々に見ていただけるのがうれしくて、瞳を輝かせて学習していました。続いた行った学校保健委員会には130名を超える方々にご参加いただきました。現代の問題であるメディアとの付き合い方への関心の高さがうかがえました。講演会の内容は、「ほけんだより」に掲載しておりますので、ご覧ください。

また、親子草抜きで校庭がとてもさっぱりとしました。おかげで、アジサイやアサガオなどが一層生き生きと咲いています。美しい環境で梅雨の間も気持ち良く過ごせそうです。

7月の生活目標

整理整頓をしよう

最近では、「断捨離」や「ミニマリスト」などのことばを目にしたたり、聞いたりします。これらのことばには、必要のないものや使わないものを手放すことで、本当に必要なもの、本当に価値のあるものを見付けられるという考えが根底にあるようです。1学期の終わりに自分の身の回りをすっきりさせて、また新たな出発をしたいですね。（生徒指導主事）

